



Race Report

20 May, 2012

PETRONAS TWS GS350

劣勢予想されたSUGOで 2戦連続となる3位表彰台を獲得！！

■公式予選 【天候】 晴 【コース】 ドライ

2012年スーパー耐久シリーズ第3戦の舞台は、宮城県に位置するスポーツランドSUGO。ここSUGOのコースレイアウトはアクセルを踏みながら旋回するコーナーが多く、さらにアップダウンにも富む典型的なテクニカルサーキット。PETRONAS TWS GS350は前戦もてぎで初表彰台獲得となる3位に食い込んでみせたが、ここSUGOはそのもてぎとはまた異なるレイアウトという事もあり「GS350にとっては最も苦手なタイプのサーキットかもしれない(吉本大樹)」と、苦しい戦いを強いられる可能性も念頭に置いての走り出しとなった。

今回の第3戦は、開幕戦以来の1dayレース。金曜日に30分×3本、土曜日には1時間×3本の占有走行セッションが行われ、予選、決勝は日曜日の一日で行われる事となる。PETRONAS TWS GS350は雨に見舞われた金曜日の走行、一転晴天に恵まれた土曜日の各セッションで様々なセットアップにトライ。「一発のタイムはまだまだ遅れている」としながらも、フリー走行で行う予定だったプログラムは全て消化、いくつか出ていたトラブルも解消し日曜日の公式予選を迎える事となった。

そして絶好の好天に恵まれ行われた公式予選。まず最初のAドライバー予選に挑んだのは吉本大樹。その吉本は前戦もてぎでの予選と同様、決勝も見据え前日までのセットアップから更なるトライを重ねるべく新しいセットでコースイン。しかし、GS350はいくつかの特認を受けているマシンながら車重においては同クラスのトップを行くマシンと200kg近い差がある事もあり、ここで吉本がマーク出来たタイムは1'32"885。その後行われたBドライバー予選での佐藤選手も吉本のタイムに迫る1'32"914をマークしたものの、合算タイムでの結果は10番手。午後の決勝は苦しい位置からスタートを切る事が決まってしまったが、その後行われたCドライバー予選で小林選手が好タイムでラップを重ねると、ここで試したレースセットのフィーリングは上々。前戦同様にレース中のポジションアップを確信するものとなった。

■決勝 【天候】 晴 【コース】 ドライ

公式予選セッション同様、青空の下で行われることとなった決勝レース。気温は24度、路面温度は47度と、5月とは思えぬほどのコンディションとあって、マシン、ドライバーにとって過酷な戦いになることも予想された。午後1時38分に切られたスタートでPETRONAS TWS GS350のステアリングを握ったのは小林敬一選手。OTG Motor Sportsは前日からレースストラテジーを入念に確認、様々なシチュエーションに対応出来るようにと細やかなシュミレーションを行って第3戦のスタートを迎える事に。するとこのシュミレーションがスタート直後から大きな意味を持つ事となる。

ピットスタートとなった1台を除く44台が一斉にグリーンシグナルの点灯と同時に加速、3時間先のチェッカーを目指す戦いの火蓋が切れて落とされたスタート直後の3コーナー、ここでいきなりのアクシデントが発生する。ST-3クラスのassetテクノZ33が姿勢を乱してスピン、これにST-4クラスのマシンが激突。幸い各ドライバーに大きな怪我は無かったものの、パーツが大量に散乱したこともあり、ここでセーフティカーが導入されること。この混乱の最中、入念なシュミレーションを行っていたPETRONAS TWS GS350は迷うことなくこのタイミングでピットイン。素早くアウトラップ、フォーメーション、レース2周で減った計4周分の燃料補給を行い、同時にドライバー交代も終え佐藤選手がコースへと戻っていく。後は1回のルーティーンストップでドライバー交代の義務を消化できる状態を作り上げたPETRONAS TWS GS350。するとここから佐藤選手が59周に渡り燃費を考慮しながらも安定したラップを刻み続け、レースの約半分を終えたタイミングでピットイン。ここで最終スティントの吉本大樹へとステアリングを託していく。

しかしコースに戻った吉本を待っていたのは、コース幅の狭いSUGO特有のトラフィック。6クラス40台以上のマシンが走行するコース上では、常にクラス違いのマシンが入り乱れ、至る所でバトルが展開されており中々本来のペースで走る事が出来ない。それでも吉本は冷静に状況を把握、現状で出し得るベストなラップタイムをマークし続け、気がつけばポジションは3番手、さらに2番手に行くマシンのテールが視野に入る位置にまで追い上げていく。結局最後はわずかに2秒足らず3位のままチェッカーを受ける事になったものの、レースストラテジーの妙と、今あるマシンのポテンシャルを最大限に引き出し続けた3ドライバーの実力、そしてOTG Motor Sportsの進化し続けるパフォーマンスにより、苦手とみられたSUGOラウンドで見事2戦連続となる3位表彰台を獲得、シリーズランキングでも4位に浮上する事となった。

12' Super Taikyu Series Round_3 / SUGO

2012.5.20 (sun) Qualify & Final

Text : www.hiroki-yoshimoto.com【OSAKA TOYOPET motor sports report】 <http://www.osaka-toyopet.jp/contents/motor-sports-report/>【OTG Motor Sports Club blog】 <http://blog.zaq.ne.jp/otgmsc/>【Super Taikyu Series Official Site】 <http://www.supertaikyu.com/>【Hiroki Yoshimoto Official Site】 <http://www.hiroki-yoshimoto.com/>

PERSONAL SPONSORS

PARTNERS

HY Management Co., Ltd.
info@hy-management.com
www.hiroki-yoshimoto.com



Race Report

20 May, 2012

吉本大樹コメント

完璧と言えるレースだったと思います。マシンの不利なコースで表彰台を獲得できたのには様々な理由があります。重量が重い分、どうしてもタイムは出ませんが、決勝には自信がありますが、それでもトップには追い付きません。チーム、全ドライバー、どれかがファンミスをしていれば出せなかった結果ですし、優勝程の価値があると思います。

次戦までかなり時間が空きます。その間にマシンは更に進化しますので3位以上の結果を出せる様にテストで更に開発を進めたいと思います。このデッカイGS350がガチ勝負で勝つ日は必ず来ます！引き続きの応援を宜しくお願いします。



PHOTO



PERSONAL SPONSORS

PARTNERS